



まるで
乳首を責められる
たび

潜入スパイ

時雨マユミ

乳首快樂調教編

数時間前
イカされた後
マユミは

じゃ
最後に

これ塗って
一旦終わり
ましようか♡

淫乱に
なすれ♡

淫乱に
なすれ♡

さらに
乳首とマンコに
媚薬クリームを
塗られ

そして
塗られた
あとは

再びスーツの
チャックを
あげられ

一晩放置
させられて
いた

そして乳首と
アソコが媚薬で
熟成され：

マユミは
体が疼き
ムラついていた
のだった…

これぞ
おわり!?

え!?

ムラマツ♡
ムズ♡
ムズ♡

ムラ♡

そして
ようやく

は〜い♡

ちゃんと
クリームの
効果出てた？

黒服だった
女たちが現れ

水着姿の
ユキエと

もうだいぶ
肌に浸透して
体ムラついてきた
と思うけど…

安心して頂戴♡
今日は…

第二の
乳首快樂調教が
始まるうとしていた





さらに
乳首を性感帯として
開発していくよ♡



あら？

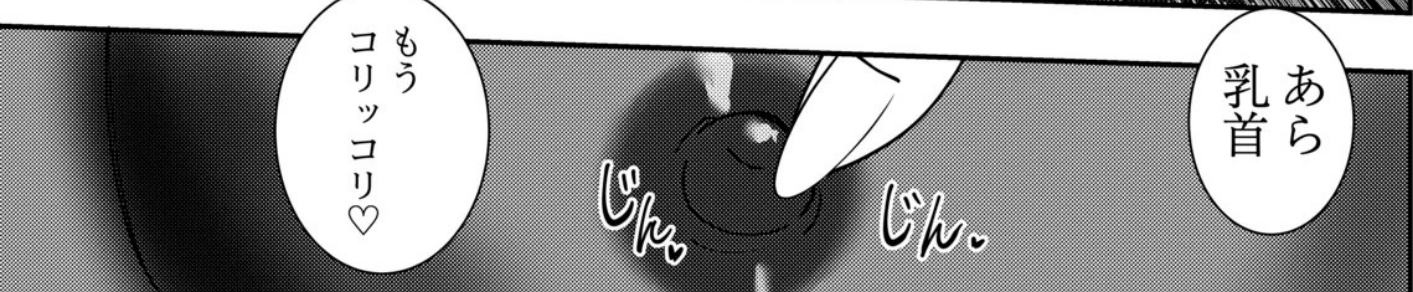
随分
感度が上がったん
じゃない？

良い
兆候ね…♡



今…私の
声…!?

お…え？





うっ…何よ…この焦った
乳首責めは…!!

乳首の先っぽを掠める
ように…すりすりされて…これじゃ…



ぜ…全然

満たされ
ないじゃないっ…♡



あらあら
気づいてる？

あなた今
とんでもない
メスの顔してる
わよ♡

この場に男は
いないのに
おかしいわねえ♡

♡♡♡



まるで
乳首を責められる
たび

快樂ホルモンで
メス味が増して
女にも股を開く
淫乱レズ女に
染まっていつてるみたい…♡

♡

♡♡♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

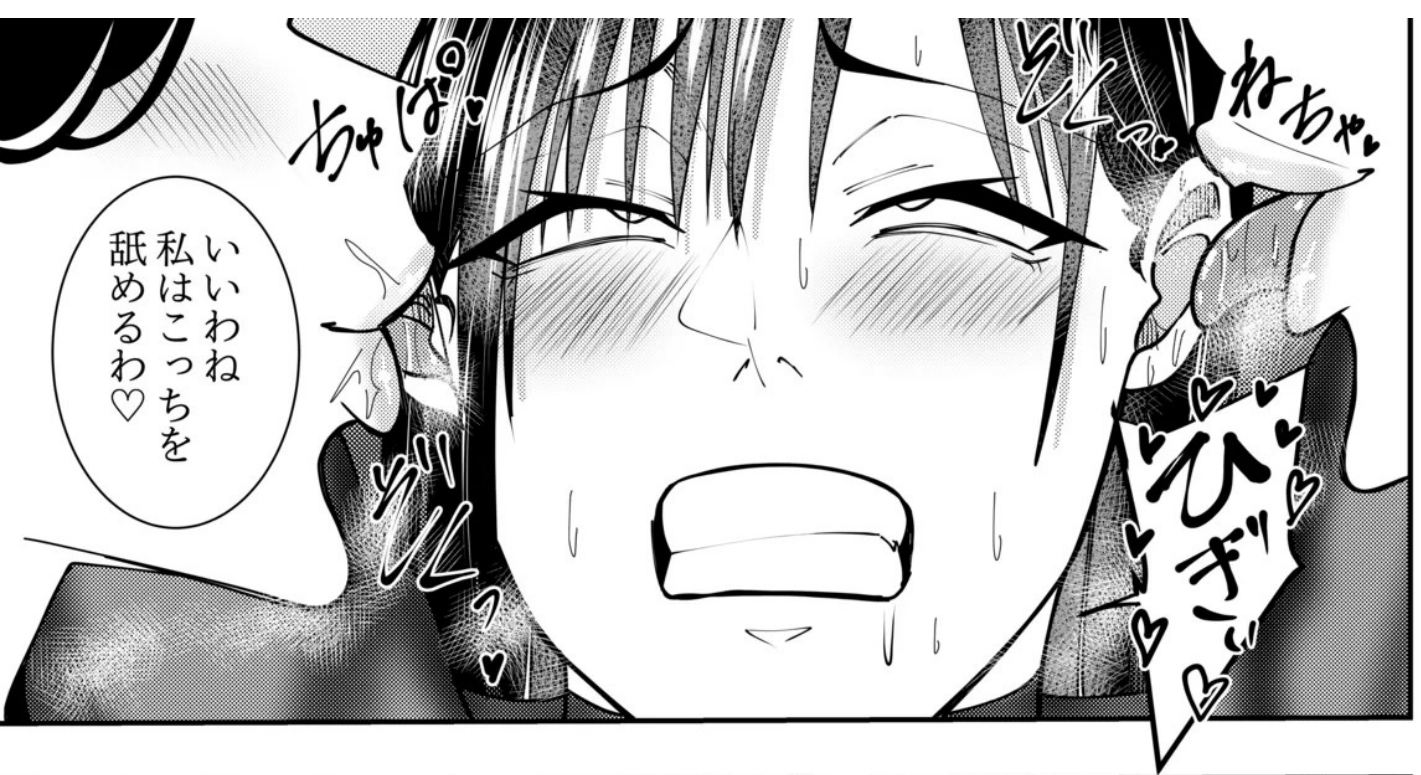
♡

♡

♡

♡

♡



いいわね
私はこっちを
舐めるわ♡



あつ…舌使いが…耳の中で
…直に…♡

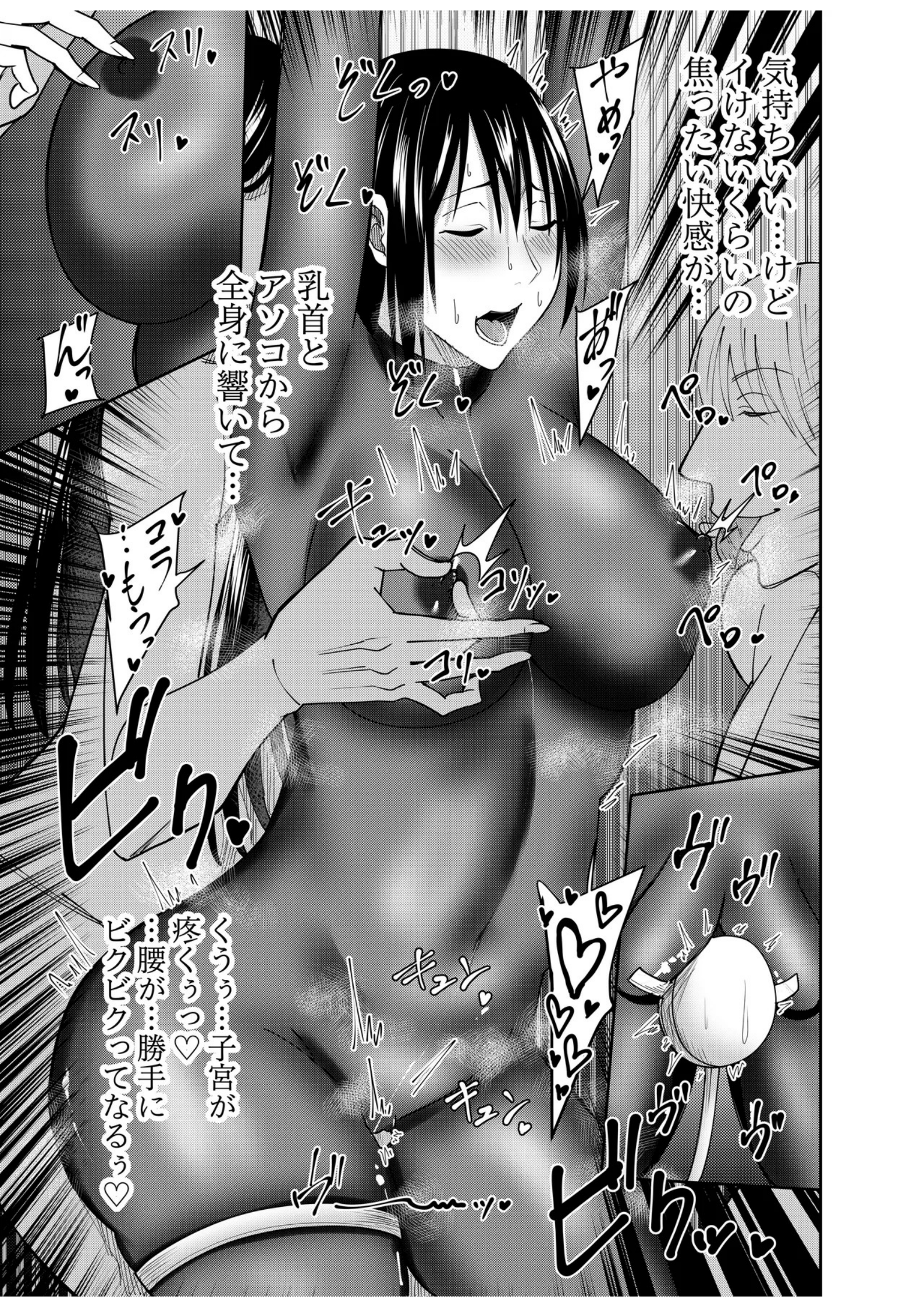
…いやっ…ゴリゴリって
…気持ち悪いのに

体は…どんどん
火照って…もどかしく…♡

気持ちいい…けど
イけないくらいの
焦った快感が…

乳首と
アソコから
全身に響いて…

くうう…子宮が
疼くうっ♡
…腰が…勝手に
ビクビクってなるう♡



こゝんなこと
いっつまで我慢すれば
いいの!?

そこから
3時間
マユミは

イク寸前まで
気持ちよく
させられるが

イかせてもらえない
責めを
されていた

マユミは
アソコを今すぐ
いじりたかったが
手は拘束
されたまま...

マユミのアソコは
もう媚薬と
愛液でムレムレ
になり

スーツの内側は
もうびしょ濡れ
だった

刺激はローターの
弱い刺激のみで
気がおかしくなりそう
になっていた

ムレムレ



選択肢を
あげる♡



さあそろそろ
かしらね♡



侵入した
目的とアナタの
素性・組織を
言いなさい♡
そうすれば
イかせて
あげる♡



いきたい!!

もう...
無理...限界っ♡

だ...だが
イクためだけに
...まんま...
♡

イける??
...やっど??

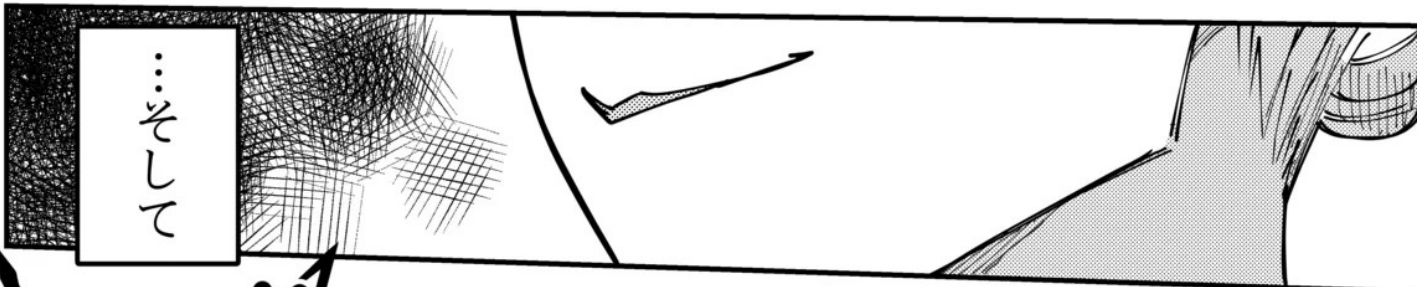
...きたい

ふ...
ふぎけるなよ...



言いますっ
言いますのでっ

イかせて
くださいっ
♡



…そして



情報を一つ
喋るごとに

ローターのバイブ
が強くされて
いった

